

## おわりに

青銅器の発展や、電気・電力の発明・発展などの世界文明に係わるような需要変革が供給の拡大を要求し、従来技術では対応できない生産拡大のために、新技術が求められ、新たな技術開発努力のもとに科学・技術の革命的発展とも係わりながら、地下排水技術、大規模露天掘り技術、浮遊選鉱技術、自溶炉技術などの生産技術が発明・開発され、需要と生産技術の変動が相関して銅ビジネスが発展してきたことを再認識致しました。

現在では、東アジアを中心とする新興工業国の需要の急拡大が認められ、SX/EW などによる低品位鉱や硫化鉱の湿式処理技術が求められていることに歴史の一端が見えて参ります。

最後に、この企画をまとめ、端緒を開かれた時、逝去された大迫次郎氏に本書を捧げます。